

【松前江良地域】

地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み

●ホッケ養殖試験（継続事業）

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		取組場所	関連資料												
地域 MV における取組の位置付け	<p>【地域の目指すべき姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁港漁場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・静穏域確保 漁村振興 <ul style="list-style-type: none"> ・漁家経営安定 ・雇用の創出 <p>【主な取り組み】</p> <p>蓄養施設整備と事業化（地産地消を含めた流通の安定と高付加価値化の推進）</p>		<p>【取組の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖ホッケ水揚げ  <ul style="list-style-type: none"> ・活出荷魚は直接活魚輸送車で出荷 												
現状における取組実施の背景	<p>近年、漁船漁業の生産変動が大きい中、特に冬期から春期の漁獲が低位にある傾向にあった。ホッケの漁獲も減少している中で、産卵後のホッケを海中施設に收容し、一定期間給餌管理を行い、肥育させた後、出荷することにより漁家の収入の向上を図る事を目的として取組んできた。</p>		 <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷魚は活締め後、滅菌海水氷を活用し、鯰蓋にタグを装着して出荷 												
取組により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・漁家の収入の向上 ・雇用の増加 														
(2) 取組内容・実施体制 (Do)															
取組内容、方法、手順、実施体制	<p>【取組内容】</p> <p>ホッケ養殖</p> <p>【方法・手順】</p> <p>海中生簀に 250 g 程度のホッケを 11 月頃に收容し給餌管理を実施。翌年 5 月頃までに 700 g 程度までに肥育したホッケを出荷した。</p> <p>【実施体制】 江良蓄養施設管理委員会（実行組合、期成会、組合、漁業者） 魚類養殖部会</p>														
(3) 効果項目に対する評価 (Check)															
効果目標の達成度評価	<table border="1"> <tr> <td>【令和 2 年度】</td> <td>鮮魚出荷：10,669.2 kg、4,066 千円</td> <td>活魚出荷：2,176.5 kg、1,561 千円</td> </tr> <tr> <td>【令和 3 年度】</td> <td>鮮魚出荷：3,954.2 kg、1,494 千円</td> <td>活魚出荷：2,946.6 kg、1,405 千円</td> </tr> <tr> <td>【令和 4 年度】</td> <td>鮮魚出荷：1,729.5 kg、551 千円</td> <td>活魚出荷：2,643.4 kg、1,546 千円</td> </tr> <tr> <td>【令和 5 年度】</td> <td>鮮魚出荷：2,117.4 kg、916 千円</td> <td>活魚出荷：2,746.9 kg、2,017 千円</td> </tr> </table>			【令和 2 年度】	鮮魚出荷：10,669.2 kg、4,066 千円	活魚出荷：2,176.5 kg、1,561 千円	【令和 3 年度】	鮮魚出荷：3,954.2 kg、1,494 千円	活魚出荷：2,946.6 kg、1,405 千円	【令和 4 年度】	鮮魚出荷：1,729.5 kg、551 千円	活魚出荷：2,643.4 kg、1,546 千円	【令和 5 年度】	鮮魚出荷：2,117.4 kg、916 千円	活魚出荷：2,746.9 kg、2,017 千円
【令和 2 年度】	鮮魚出荷：10,669.2 kg、4,066 千円	活魚出荷：2,176.5 kg、1,561 千円													
【令和 3 年度】	鮮魚出荷：3,954.2 kg、1,494 千円	活魚出荷：2,946.6 kg、1,405 千円													
【令和 4 年度】	鮮魚出荷：1,729.5 kg、551 千円	活魚出荷：2,643.4 kg、1,546 千円													
【令和 5 年度】	鮮魚出荷：2,117.4 kg、916 千円	活魚出荷：2,746.9 kg、2,017 千円													
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・今期も養殖対象魚（ホッケ）の確保に期間を要した。 ・ 														
(4) 取組の改善措置 (Action)															
取組内容の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の点検整備 ・人工餌料等餌料の模索 ・養殖対象魚の効率的な確保方法 														
取組の実施に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕費 ・餌料模索のための経費 														
			 												

●ウニ養殖試験（継続事業）

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		取組場所	関連資料
地域 MV における取組の位置付け	<p>【地域の目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁港漁場整備 ・ 静穏域確保 漁村振興 ・ 漁家経営安定 <p>【主な取り組み】</p> <p>ウニ・アワビ増養殖施設（消波と港内藻場造成を兼ねた潜堤等施設）の事業化</p>		<p>【取組の様子】</p> <p>ウニの収容</p> 
現状における取組実施の背景	<p>管内のキタムラサキウニは「磯焼け」により身入りが悪く低価格で推移していた。それら身入りの悪いウニを給餌管理できる水域（施設）に深浅移殖を行い、肥育させて付加価値の向上を図り漁家経営の安定を図るため実施してきた。</p>		
取組により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁家の収入の向上 ・ 安定したウニの供給 		
(2) 取組内容・実施体制 (Do)			
取組内容、方法、手順、実施体制	<p>【取組内容】</p> <p>キタムラサキウニの養殖</p> <p>【方法・手順】</p> <p>方法：漁具の届かない水深のウニを潜水器漁業で採取。蓄養水面、養殖施設に移植し、コンブ等を給餌し肥育。</p> <p>手順：10月頃；キタムラサキウニを採取移殖した後、給餌管理開始。随時、身質・歩留まり等調査。</p> <p>翌年5～7月：水揚げ。殻付き出荷。</p> <p>【実施体制】 江良蓄養施設管理委員会（実行組合、期成会、組合、漁業者） ウニ養殖部会</p>		<p>ウニの回収</p> 
(3) 効果項目に対する評価 (Check)			
効果目標の達成度評価	<p>○養殖ウニ出荷推移</p> <p>【令和2年度】 水揚げ量 822.5 kg、金額 767千円、</p> <p>【令和3年度】 水揚げ量 2,596.3 kg、金額 2,437千円、</p> <p>【令和4年度】 水揚げ量 3,269.9 kg、金額 2,971千円、</p> <p>【令和5年度】 水揚げ量 3,067.2 kg、金額 2,748千円</p> <p>○漁協・町内加工業者によるウニ加工品の製造 0</p>		<p>ウニ加工品「うに塩水パック」</p> 
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 餌料の確保 ・ 管理体制の強化 		
(4) 取組の改善措置 (Action)			
取組内容の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の整備 ・ 餌料の模索 		
取組の実施に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の修繕費 ・ 餌料模索のための経費 ・ 新餌料の試験費用 		